

誰もがいつまでも楽しめるニュースポーツ。このコーナーでは、さまざまなニュースポーツの魅力を紹介します。

今月のスポーツ

ファミリーバドミントン

「ファミリーバドミントン」は3人制のバドミントンで、初めての人でも簡単に打つことができるよう、スポンジボールに羽根が付いたシャトルやシャフトが短いラケットを使用します。相手コートへ返すまでに、2回まで打つことができたり、スマッシュが禁止されていたり、ラリーが続けやすいルールとなっています。

競技のここが楽しい!

2回まで打つことができるため、チームワークが勝敗を決めるポイント。試合では、家族や友達同士で声を掛け合う姿が見られます。



3世代でチームを組み、参加されている方もお見えてですよ!



スポーツ推進委員

やまなか やすしげ

山中 泰成 さん

▲シャトルとラケット



一緒に楽しみましょう!

11月に市主催のファミリーバドミントン大会を開催しますので、皆さんご参加ください。

問合せ スポーツ課 ☎ 382-9029 📠 382-9071



ひと・まち・モータースポーツ

“鈴鹿産・鈴鹿発”

フォーミュラカーレース、誕生20周年!

2003年に鈴鹿サーキットと市内のレース関連事業者が協力して作り上げた入門用レースカテゴリー「フォーミュラEnjoy」。モータースポーツの門戸を広く開放するために生まれた、画期的な“鈴鹿産・鈴鹿発”のレースが誕生20周年を迎えました。

2代目となる現行マシンは、レーシングカーの設計ノウハウが凝縮された本格的な車体にホンダ製1300ccのエンジンが搭載されたもの。部品代や整備費などが安く済むようになっており、過度な競争を抑制しながら、安全にモータースポーツの魅力に触られます。

鈴鹿サーキットと岡山国際サーキットを舞台に開催されるシリーズ戦のほか、レンタル車両での試乗会や合同練習会など、さまざまな楽しみ方ができるのも大きな魅力です。レースやイベントの参加者は50代を中心に、60代、70代の方も参加しており、真剣な中にアットホームな雰囲気があふれています。年齢関係なく一生涯楽しめるモータースポーツ、それがフォーミュラEnjoyです。



▲気分はF1レーサー「フォーミュラEnjoy」

なかのよししげ

■中野能成(鈴鹿モータースポーツ友の会 事務局)

キーボード

市役所に入庁し、最初に配属された部署は、土地の境界を決める立会が主な業務で、市民の方と直接お話しする機会が多くありました。右も左も分からない中、私は、とりあえず笑顔だけは忘れまいと業務に当たっていました。今でも覚えているのが、年配女性の方に「あなたの笑顔は役所ナンバーワンやな。いつもお疲れさん」と言ってもらえたこと。とてもうれしく、励みになりました。

今回の特集では、職員募集を取り上げました。取材した若手職員は、市民の方の生の声を業務に反映したり、感謝の言葉を直接伝えてもらえたりするこがやりがいの一つであると話してくれました。

インターネットの普及で人と会わなくてもできる仕事が増加する中、直接市民の皆さんと関わることが多い市役所の仕事。少しでも、一緒に働きたいと思ってくれる方が増えてほしいものです。(由)